



5月宍粟市定例記者懇談会

日時 令和3年5月24日（月）午後2時～
場所 市役所3階 庁議室

1 開 会

2 あいさつ

3 発表項目

- (1) 教職員研修で連携協定 兵教大と教委 31日締結式・・・1ページ
- (2) 宍粟学講座 参加者募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ

4 イベント情報 6月・・・・・・・・・・・・・・・・・・5ページ

5 県立千種高等学校からのお知らせ・・・・・・・・・・7ページ

6 閉 会



次回の予定

日時 令和3年6月18日（金）午後2時～
場所 宍粟市役所3階 庁議室



教職員研修で連携協定 兵教大と教委 31日締結式

<p style="text-align: center;">概 要</p>	<p>市教育委員会と国立大学法人兵庫教育大学が「国立大学法人兵庫教育大学と宍粟市教育委員会との連携協力に関する協定」を今月31日に締結します。教育現場に存在する課題は複雑化、また、多様化し、ますます専門性が必要となります。教職員の資質向上やスキルアップのための研修において相互が連携協力することで地域の教育力の向上に寄与することが期待されます。</p> <p>日時 令和3年5月31日（月）14時～15時</p> <p>場所 宍粟市役所3階 庁議室</p> <p>協定締結者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人兵庫教育大学学長 加治佐 哲也 ・宍粟市教育長 西岡 章寿 <p>協定期間 令和3年5月31日～令和4年3月31日</p> <p>連携協力する内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員研修の企画及び体制整備に関すること 2 教職員研修の実施に関すること 3 兵庫教育大学における教育及び研究、企画実施する研修事業等に関すること 4 その他両者が協議して必要と認めること 		
<p>参考資料</p>	<p>令和3年度兵庫教育大学と連携したミドルリーダー育成事業実施要項</p>		
<p>担当者から</p>	<p>大学と連携し、教職員のミドルリーダー育成につながる研修を行います。</p>		
<p>問合せ先</p>	<p>所属 学校教育課</p>	<p>担当 岡田 滋久</p>	<p>TEL 0790-63-3118</p>

兵庫県宍粟市

令和3年度兵庫教育大学と連携したミドルリーダー育成事業実施要項

1 目的

今、学校においては、中堅・ベテラン教員の不足、若手教員の急増等の要因により、授業実践や学級経営に係る指導力の向上、学校における教員同士のコミュニケーション能力の向上が大きな課題となっている。これらの課題を解決するためには、ともに学び合う学校組織づくりが不可欠であり、校長のリーダーシップのもと、学校教育目標の共通理解を図りながら教職員一人一人の能力・適正をいかした学校運営に努め、教職員全員が協力して、機動的に対応できる組織の構築が必要である。

そこで、現場の教育課題を明確にし、日々の教育活動の中で児童生徒一人一人の興味や関心、発達や学習上の課題を踏まえ、教職員が自らの指導方法の工夫・改善を図り身に付けた最新の知識・技能を共有しながら、教職員全員が協力して、機動的に対応できる組織の構築のために、協働と対話を通じたよりよい解決方法を研究することにより、学び続ける教師集団の育成につながる研修を行う。

2 主催 兵庫教育大学 宍粟市教育委員会

3 対象者 市内小中学校 教員 19名（各校1～2名）

4 講師 兵庫教育大学 教職大学院教員

5 日程等 4日間の研修 宍粟市教育研修所等

6 主な研修内容

第1回：教員が学び合う学校組織の営み—理論的基盤

第2回：「協働」と「対話」のためのワークショップ①

第3回：「協働」と「対話」のためのワークショップ②

第4回：教員が学び合う学校組織の営み—総括的討論

7 参加要件

【原則として1回～4回を通して受講すること、4回については、全教員が参観して成果を共有することとする。】

- ・ 児童生徒への指導等に関して、豊富な知識や経験を基に、同僚・先輩や管理職等と協力しながら学校の課題に取り組むことをめざし、若手教員に対し個性や特性に応じた支援ができる者。
- ・ 学年・学校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関と連携して、学校教育活動に取り組める者。

8 経費 旅費については、一般旅費とする。



テーマは西播の中世武家と家紋 宍粟学講座 参加者募集

<p style="text-align: center;">概 要</p>	<p>「西播の中世武家と家紋」がテーマの第1回宍粟学講座の参加者を募集します。講師は日本家紋研究会理事の田中豊茂さんで西播磨に割拠した戦国武家の歴史と家紋の由来について講和をいただきます。</p> <p>感染症対策のため、予定を変更する場合があります。詳細は市ウェブサイトに掲載します。</p> <p>日 時 令和3年6月5日（土）14時～15時30分</p> <p>会 場 宍粟防災センター5階ホール (宍粟市山崎町鹿沢65番地3)</p> <p>講 師 田中 豊茂さん（日本家紋研究会理事）</p> <p>定 員 先着50名</p> <p>料 金 無料</p> <p>その他 事前申込み必要、要約筆記・手話通訳あり 宍粟市民大学（しろう学びパスポート）対象講座</p>		
<p>参考資料</p>	<p>チラシ</p>		
<p>担当者から</p>	<p>広く周知くださいますようお願いいたします。</p>		
<p>問合せ先</p>	<p>所属 社会教育文化財課</p>	<p>担当 堀 寛之</p>	<p>TEL 0790-63-3117</p>

兵庫県宍粟市

第1回穴粟学講座

入場
無料

西播の中世武家と家紋

～宇野氏を中心に～

戦国時代、穴粟郡に勢力を張った宇野氏を中心に、西播磨に割拠した戦国武家の家紋の歴史と由来について解説いただきます。

- 時間** 令和3年 6月 5日(土) 14:00～15:30 (13:00受付)
- 場所** 穴粟防災センター5階ホール (穴粟市山崎町鹿沢65番地3)
- 講師** 田中 豊茂さん (日本家紋研究会理事)
- 定員** 先着 50名 (感染症対策のため、事前申込制とします。)
- 申込方法** 電話・FAX・メールで申込ください。
- 駐車場** 防災センター駐車場が満車の場合は、西側臨時駐車場をご利用ください。
- 備考** 手話通訳・要約筆記あり・市民大学対象講座



アクセス : 神姫バス山崎停留所より西へ160m
中国自動車道山崎ICより車で5分

【問合せ先】

穴粟市教育委員会 社会教育文化財課

〒671-2593 穴粟市山崎町中広瀬133番地6

TEL : 0790-63-3117

FAX : 0790-63-1063

MAIL : bunkazai-kk@city.shiso.lg.jp



受講にあたっては、マスクを着用いただき、発熱・咳・喉の痛みなどがある場合は、受講をご遠慮ください。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、予定が変更になる場合があります。

穴粟学講座 参加申込書 (FAXで申込の場合は、下記に必要事項を記入のうえ、送信ください。)

氏名	住所	電話
	4	

宍粟市イベント情報 令和3年6月

6月に開催されるイベントはありません。

県立国見の森公園 6月活動プログラム

予定は変更される場合があります。

住所：山崎町上比地 374 TEL：0790-64-0923/月曜休園日

- ▶5日(土)アサギマダラの舞う森づくり 6日(日)栗園の整備 ▶12日(土)初夏の国見 自然観察会
- ▶12日(土)ホタル観察会 ▶19日(土)森のそば打ち体験 ▶20日(日)山野草を楽しもう
- ▶20日(日)国見で昆虫を探そう ▶26日(土)森の窯焼きピザづくり ▶27日(日)梅雨のきのご観察会

宍粟の花巡り

<p>クリンソウ</p> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 駐車場と遊歩道は閉鎖されています。 </div>	<p>5月下旬～6月上旬</p> <p>▶天児屋たたら公園 (千種町西河内 1048-38)</p> <p>▶ちくさ高原 (千種町西河内 1047-218)</p>	<p>古くから自生している日本原産種のクリンソウは気候変動や乱獲などで数が減り、兵庫県の絶滅危惧種に指定されています。山間部の美しい水流のある場所や湿地などに群生し、山野草の中でも特に美しくかわいらしい花を咲かせます。お寺にある「九輪」のように花茎を中心に一段、二段と重ねて円状に花を咲かせることからこの名前がついたと言われています。ちくさ高原は国内最大級のクリンソウの群生地として有名です。</p>	<p>ちくさええとこセンター TEL 0790-71-0230</p>
<p>ベニバナ</p>	<p>6月中旬～下旬</p> <p>上ノ下公民館付近のベニバナ畑 (山崎町上ノ 556)</p>	<p>山崎町上ノ下地区で地元の同好会が育てている約1万本のベニバナが6月下旬頃に満開を迎えます。万葉集に「紅の末摘花」と詠まれたこの花は、咲きはじめの黄色から橙色を経て紅色へと移り変わる様子が楽しめます。</p> <p>なお、ベニバナ畑内で切り花の販売が予定されています。</p>	<p>しそう森林王国観光協会 TEL 0790-64-0923</p>

旬の味覚

鮎料理	5月26日～8月頃	5月26日の鮎漁解禁に伴い市内の飲食店で鮎料理が提供されます。唐揚げやあめ炊きなどのほか、釜飯などこの時期だけの味が楽しめます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶鮎茶屋正起 TEL 0790-62-3838 ▶四季旬菜 和やわらぎ TEL 0790-62-1120 ▶伊沢の里 TEL 0790-63-1380
西はりま山椒	5月中旬～6月中旬 ▶収穫状況により販売時期が変わります。	西はりま山椒の品種であるアサクラサンショウは江戸時代には既に県内で栽培されていたといわれています。大粒で爽やかな柑橘系の香りが特徴です。 一宮町の忠佳では宍粟の山椒が練りこまれた香り高いが楽しめる山椒うどんが夏季限定で提供されます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ふるさと宍粟 PR 館 きて一な宍粟 TEL 079-280-3401 ▶食彩館 伊和の里 TEL 0790-72-2202 ▶道の駅 播磨いちのみや TEL 0790-72-8666 ▶道の駅 みなみ波賀 TEL 0790-75-3999 ▶忠佳ただよし TEL 0790-72-1677
そうめん	9月中旬まで	冷たい湧水を利用し、播州手延べ素麺「揖保乃糸」を使用したそうめん流しが楽しめます。	<p>元祖そうめん流しみやなか TEL 0790-73-0430</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶6月・9月 土、日、月曜日と祝日のみ営業 ▶7月・8月 無休 ▶営業時間 10時～16時

日本一の“米”めざし 田植えを小中高合同で

概要

今月28日に千種小学校と千種中学校の児童生徒らと一緒に千種高校横の圃場で田植えを実施します。

本校で実施しているイネ栽培を通じた食育推進活動を、町内の小中の子どもたちにも参加してもらうことで、一貫教育事業の推進を図るとともに、美味しいお米づくりを通じた地域愛と誇りを育み、食育の一層の推進と地域の活性化につなげることが目的です。

日時 令和3年5月28日（金）13時15分～
[予備日：6月4日（金）13時15分～]

場所 千種高校（矢内ソーメン工場）横圃場（約8アール）

参加者 千種高1年生38名、千種中3年生19名、千種小3年生16名
計73名

タイムスケジュール

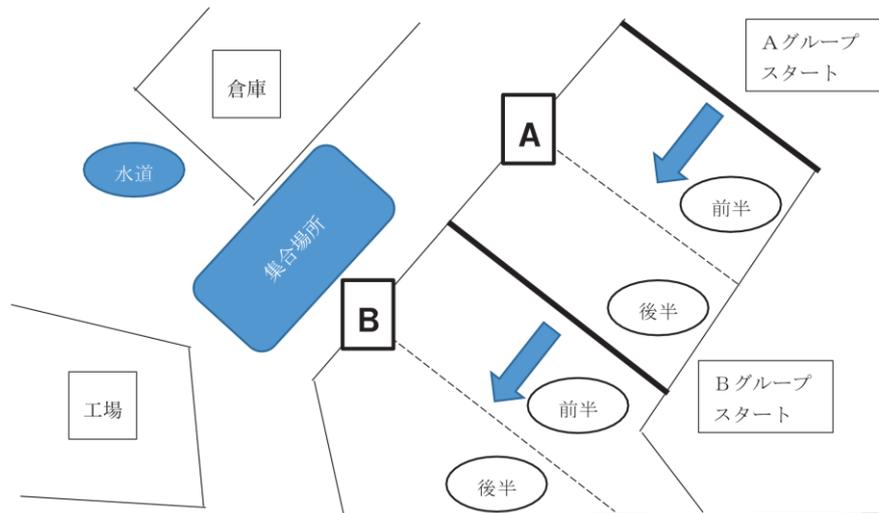
13時15分 現地集合、開会式、田植え説明（田住先生）
13時30分～ 田植え（前後半各30分程度）
14時40分 閉会式
14時45分 現地解散



方 法

- 1 グループを出席順にA・B 2つに分け、各グループをさらに前半と後半に分ける。
- 2 最初は各グループ前半が田んぼに入りスタンバイする。
(高校生の中に小中の児童・生徒が入るように校種をランダムに)
- 3 太鼓の音に合わせて、A・B同時に田植えスタート
(赤いマーク手前に苗を3本程度さす)
- 4 笛の合図でロープを30センチ前へ移動させる。※4との繰り返し
- 5 会場イメージ図の点線あたり(半分)に到達したら後半グループにチェンジする。

【会場イメージ】



参考資料	イネの栽培を通じた連携事業		
担当者から	前日の夕方に実施の有無を判断するのでお問い合わせください。		
問合せ先	所属 県立千種高等学校	担当 細見 幸司	TEL 0790-76-2033

県立千種高等学校

イネの栽培を通した連携事業

～美味しいお米づくりで地域活性化 目指せ日本一！！～

県立千種高等学校

- 1 目的 本校で実施しているイネ栽培を通した食育推進活動を、町内の園小中の子どもたちにも参加してもらうことで、一貫教育事業の推進を図るとともに、美味しいお米づくりを通した地域愛と誇りを育み、食育の一層の推進と地域の活性化につなげる。
- 2 日時 令和3年5月28日（金）5，6限・・・田植え実習
[※予備日6月4日（金）5，6限]
令和3年9月24日（金）5，6限・・・稲刈り実習
[※予備日9月28日（火）5，6限]
- 3 場所 千種高校（矢内ソーメン工場）横圃場（約8アール）
- 4 参加対象 高校：1年生、中学校：3年生、小学校：3年生
(人数) 38名 + 19名 + 16名 = 計73名
- 5 講師 田住学先生
- 6 年間計画（イメージ）※網掛け部分は協力をお願いしたい所です。

月 日（曜日）	内 容	備 考
4月下旬	講義：美味しいお米づくりに向けて	講師：JA購買課 井口氏
5月下旬	講義：田植え実習に向けて	講師：田住先生
5月28日（金）	実習：小中高田植え	講師：田住先生
6月～9月	水管理、水田除草	高校1年生
9月24日（金）	実習：小中高稲刈り	講師：田住先生
10月下旬	お米甲子園、日本一うまいお米コンテスト出品	高校1年生
11月下旬	同コンテストの結果発表	
12月中旬	お米販売実習	高校1年生
	お米を利用したメニュー考案	小学生
1月上旬	ちくさ学校給食センターへお米の寄贈	高校1年生
1月中旬	同センターを介した給食による食育交流	
2月中旬	講義：米作りを通しての学びについて	講師：田住先生

7 その他

- 実習日時については、なるべくこの日程で考えますが、変更になる可能性があります。
- こども園の方も、見に来るだけでも参加いただければと思います。実習の詳細案は改めて連絡させていただきます。

【本件に関する問い合わせ先】

県立千種高等学校 教頭 細見 幸司
TEL：76-2033